

レンタルディング®で時代を拓く

AKTIO

AKTIO

April
No. 36

Communication Magazine

■ AKTIO FEATURE

脱炭素に貢献する次世代燃料専用機械

- ・バイオディーゼル燃料専用バックホー
- ・バイオディーゼル燃料専用発電機

建機レンタルロードサービス

■ AKTIO TOPICS

AKTIO独自開発の「根こそぎ切るソー」が
グッドデザイン賞受賞

新商品レンタルのご紹介

- ・衝突被害軽減アシスト装置搭載10tタイヤローラ
- ・パッシングポンプ
- ・パイロクレーン OTA-980HN

KEY PERSON

に聞く

「省人化」と「環境対策」、 建設現場の未来を “総合力”で切り拓く。

常務執行役員 営業本部長

片桐 真人

MAKOTO KATAGIRI

1996年AKTIOに入社。

横浜支店厚木営業所からキャリアをスタートさせ、所長、ブロック長、支店長を歴任。

現場でお客様と向き合ってきた経験をもとに、本社にて営業企画部長として

現場の未来のために開発すべき商品・サービスの企画に携わってきた。

2026年、営業本部長に就任。



現場の根幹を支え、高度化するニーズに伴走する

▼お客様のリアルな声に耳を傾け続けてきた片桐常務ですが、そのニーズや困りごとに変化を感じる点がありますか？

安全性の確保と生産性の向上については、過去も現在も変わりなくお客様にとっての重要課題だと認識していますが、かつての「モノ（機械・資材）の調達」といった次元から、「ヒト（人材）、プロセス（業務）、環境（コンプライアンス）」といった、経営や現場運営の根幹に関わる課題解決へとより高度化・多様化していると感じています。

AKTIOに入社して30年になりますが、私が新人だった頃は、お客様が必要とされている機械を時間通りにお届けすることに徹する、まずは基本を大切にすることが求められていました。ですが昨今、営業企画部でさまざまなデータの管理・分析を行い、「建機レンタルWeb注文サービス」などのプロジェクト

KEY PERSON

に聞く

「省人化」と「環境対策」、建設現場の未来を“総合力”で切り拓く。

建設業界が直面する深刻な労働力不足、そして地球規模の課題である脱炭素社会の実現。

2024年問題以降、現場が求める「省人化」と「環境対策」の具現化は、今や避けて通れない最優先課題といえる。

こうした時代の変化に対し、AKTIOは独自の“レンサルティング®”を武器に、生産性を高めるサービスや、環境に配慮したオリジナル商品の開発を加速させてきた。

積み重ねてきたAKTIOの“総合力”は今、どのような結実を見せているのか。

そして、未来を見据え、お客様のためにどう進化していくべきか。

長年、最前線でお客様の声に耳を傾け続けてきた、営業本部長・片桐真人常務執行役員にその展望を聞いた。

トに携わり、時代の変化とともに変わりゆくお客様の課題を解決するには、私たちが先を見越して進化し続けなければならないということを実感しました。今後当社が果たすべき役割は、課題解決の「パートナー」として、革新的な技術とサービスを提供し、業界全体の持続可能性を高めることにあると考えています。

省人化、そして生産性向上へ建設DXを加速させる AKTIOのサービス

▼DX化、ひいては省人化を進める上で必要な通信環境の整備として、AKTIOでは「Starlink Business」のレンタルも提供します。

かつて「通信は現場事務所やメールを送るための事務ツールでした。しかし省人化・DX化された現在の現場では、建機が3D設計データを受信し、ドローンが測量データを送り、遠隔監視カメラが安全を見守っています。つまり、通信は油圧や電気と同じく、建機を動かすための「不可欠な動力源」になったわけです。当社がStarlink Businessを含めた通信インフラを提供する最大の意義は、現場のラストワンマイルを保証する点にあります。私たちは便利な道具を貸し出すだけでなく、通信という土台を固め、お客様に安心して最新のデジタル技術を使いこなしていただくことが大切だと考えています。つまり「人手に頼らない、安全でスマートな現場」を実現していただくこと、止まらない現場を支えること

こそがインフラから提供する私たちの使命だと考えています。最近の現場では、通信が途切れることは「現場の思考と動きが止まること」に等しいのです。通信環境を含む全てを安心して任せていただけるAKTIOであるために、Starlink Businessをレンタルすることは、その姿勢を示す上でも重要だと感じます。

▼省人化へのアプローチについて、具体的にどのようなものが挙げられますか？

商品化はこれからです。注目しているのはお客様である竹中工務店様、鹿島建設様との3社で開発した「資機材自動搬送ロボット」です。工事用エレベータに積み込まれた資機材を所定のフロアで荷下ろし、建物のBIMデータから作成した自動走行用地図をもとに、フロアの所定位置まで自律移動できるのが特長です。資機材の搬送は作業員の付帯業務のため、休憩時間や夜間など、現場に人が少ない時間帯に搬送作業を自動化することで作業員の負担を軽減することができ、作業効率の向上も見込めます。

あとは、私が本社配属になってから深く関わった「建機レンタルWeb注文サービス」も挙げられると思います。これまで機械を注文する時は、電話をかけて在庫を確認し、メールやFAXを送るというアナログな作業が必要でした。これがスマホ一つで、24時間365日、機材の予約から返却まで完了します。この数分の積み重ねが、深刻な人手不足の中で業務の効率化に大きく寄与すると考えています。また、無人レンタル貸出・返却サービス「アックスボ」も、お客様の利便性を高め、業務の効率化に寄与します。事前に電話

で予約をすれば、営業時間外でもピックアップ・返却でき、必要な時に必要な場所で、車両を借りられるわけです。私たちが将来的に目指しているのは、自動販売機のようにお客様が自由に、いつでも無人の状態でも使いたい機械を借りられるようになること。そんな未来像を描きながら、まずは第一歩として現状のアクスポを全国に展開しています。



さらに、事故や故障時のダウンタイムの最小化にも力を入れています。レンタル物件サポート特約制度に付随する「建機レンタルロードサービス」*は、24時間365日対応で、専用窓口にご連絡いただければ、スピーディにバッテリー上がりの対応やレッカー移動を行います。レンタカーだけでなく、大型・自走式建機も対象の業界初のサービスとしてリリースし、今年さらに対象機種や補償内容も充実させました。

*詳しくはP7「建機レンタルロードサービスをぜひご覧ください」

AKTIOの一番の特長は「お客様の課題を解決する、そのための専門分野に明るく、スペシャリストが社内にいる」ところなので、これまでに蓄積してきたノウハウ、ビッグデータを有効活用し、お客様の現場の工期短縮や人件費抑制を実現し、私たちがご相談いただけることを、トータルコストを削減する投資*と考えていただけるよう、現場予算管理システムをAKTIOオリジナルのサービスとして磨いていくつもりです。

通信というインフラを整え、その上で「個体管理」と「予算管理」を進めていく。このサイクルが完成すれば、勤や経験に頼っていた現場管理は、データに基づいた科学的な経営へと進化します。人手不足という逆風を、デジタルという追い風に変える。お客様の収益性を高めるパートナーとして、私たちはこれからも現場のDXを牽引し続けていきたいと考えています。



他にも、年々減ってきている熟練工をDXでサポートする取り組みを実施しています。先にお話ししたStarlink Businessのような大容量通信があれば高精細な映像をリアルタイムで各地に送ることができ、熟練者が現場にいなくても、経験の浅い若手オペレーターに対して的確な指示を出す・遠隔操作でサポートすることが可能になります。

通信というインフラを起点に、現場のあらゆるムダをデジタルで解決し、人がよりフリータイプな仕事に集中できる環境をこれからもお客様と共に創り上げていきたいと考えています。

▼今後展開予定の新たなサービスはありますか？

当社が次に見据えているのは、現場経営の可視化と最適化*です。具体的には、現在展開を加速させている「個体管理サービス」や、開発を進めているAKTIO独自の「現場予算管理システム」がその中核を担います。これらが現場に浸透することで、お客様の収益構造に変化が起きると考えています。

今年の1月から検証を開始している「個体管理サービス」は、機械一つひとつに識別タグを取り付け、その稼働状況や所在をリアルタイムで可視化するシステムです。このサービスがお客様にもたらす最大のメリットは「資産稼働率の極大化」です。現場に点在する機材の在庫詳細がリアルタイムで可視化されれば、どの機材が余っているか、返却できるかが即座に判断できます。これによりお客様は、無駄なレンタル期間の延長や、重複した手配といった「見えないコスト」を削減することができ、さらに、これら機材の動きを反映させた

環境対策、

関心の高い脱炭素(GX)への

取り組み

▼脱炭素について、お客様からどのような要望がありますか？またAKTIOの取り組みはどのようなものが挙げられますか？

上場企業を中心に、環境問題への取り組みが厳しく問われており、環境対策が遅れると投資家からの評価が下がり、資金調達にも悪影響を及ぼす可能性があります。バイオ燃料対応建機の導入は、企業環境への高い意識を示すことになり、企業イメージや投資家からの評価を向上させる強力なアピール材料となるため、ゼネコンのお客様を中心に関心を寄せられていると感じます。

カーボンニュートラル宣言以降、2030年までのCO₂削減目標は各社にとって達成しなければならぬ課題です。お客様の社内でも、現場に直結する部署と環境部との温度差があり、ご苦労されている様子が伝わってきました。そこで、当社ならではの専門分野を扱う知見を駆使し、メーカー様ではなかなか対応しきれない部分を自社開発することにも取り組んでおります。

具体的には、早い段階から自社工場内での実証実験を実施し、問題点の洗い出しと解決策の検証を行い、2022年9月に他社に先んじて「バイオディーゼル燃料専用発電機」をリリースしました。また、今年3月には日本キヤタビラー合同会社と共同で、新たな次世代燃料専用機械「バイオディーゼル燃料専用バックホー」*を製作しました。バックホーは建設現場で最も稼働率が高いため、これをバイオ燃料対応機に切り替えれば現場全体の



「現場予算管理システム」の構築も目指しています。これまでの現場収益は、工事が終わってみないと最終的な数字が見えにくい面がありました。しかし、日々の機材稼働データと予算進捗をデジタルで紐付けることにより、リアルタイムな原価管理が

CO₂削減に絶大な効果が見込めるでしょう。

現在は試験施工の段階ですが、お客様には早く、実際に使ってもらいたいと思っています。

*詳しくはP6「脱炭素(GX)に貢献する次世代燃料専用機械をぜひご覧ください」



私たちAKTIOのレンタルそのものが環境対策に貢献する事業だと常々思っております。さらに脱炭素化製品の取り組みでは、当社の思いや、使えるものを整備して新たな価値を持たせ現場に送り出す、建機レンタルの根本的な価値を改めて感じていますので、今後ますますさまざまな可能性を模索しながら取り組んでいきたいと思えます。

▼片桐常務の考えるAKTIOの価値と、これから新しく創り上げていきたい価値を教えてください。

「人を大事に、機械を大事に」という言葉を入社時から叩き込まれてきました。また、社訓である「創造と革新の精神は、当社が守り続けなければならない根幹にあるものだと考えています。」

将来のレンタル市場は未知数であり、自分たちが市場を創り育てていく必要があります。常に新規分野への挑戦を意識することが事業領域の拡大につながり、持続的成長が現実的なものになるでしょう。

AKTIOは今、数十社のグループ会社が一つになった巨大な共同体です。建機レンタルを核としながら、製造、建設、運送、人材派遣の会社があり、各社がそれぞれの分野で成長を遂げています。お客様からの声に応えて、グループ会社と協力してオリジナル商品を開発する。海外での現場であれば、現地のグループ会社と連携する。この「シナジーこそが、競合他社にはない私たちの圧倒的な強みです。そういう意味での総合力*も今後さらに発揮していきたいですね。」

あと、これは私個人の想いですが、AKTIOという会社は若い人が活躍できるところであってほしいと思っています。チャレンジしたい人にはチャンスがある会社だと自負しているのですが、失敗させたくないし過保護になるより、若い世代が思い切ったやり方することにトライできる環境を整えていきたい。それが私たちAKTIOの根幹にある「創造と革新」の精神を次の世代へつなぎ、根付かせたいと思っています。

業界初、万が一の時も現場を止めない!24時間365日対応

建機レンタルロードサービス

建設現場において、建機や車両の突然のトラブルは工期の遅れや思わぬコスト増に直結するもの。「アクティオレンタル物件サポート特約制度」に加入すれば、大型・自走式建機も対象となる充実のロードサービスを利用できる。事故や故障で走行不能となった際に、24時間365日対応の専用窓口へ連絡するだけで、ロードサービス業者を迅速に手配し、レッカーけん引や応急処置を受けることが可能となる。万が一のトラブル時にもお客様を強力にサポートし、安心・安全な現場運営に貢献する。現場での急な事故や故障、バッテリー上がり、そんな走行不能のトラブル時に頼りになるのが、この建機レンタルロードサービスだ。

＼ 2026年1月よりさらに強化! /

<p>自走式建機の補償限度額を大幅アップ!</p> <p>1事故あたり合計最大100万円まで補償(旧20万円から拡充)</p>	<p>対象機種拡大</p> <p>エンジン式の高所作業車が新たに対象へ追加</p>	<p>レンタカーの宿泊・移動費を補償</p> <p>走行不能時に発生した宿泊費や移動費を、1搭乗者あたり最大各2万円まで補償</p>
--	--	---

●手配の主な内容と補償金額

レンタカー対象	+	自走式建機対象
<ul style="list-style-type: none"> ①レッカーけん引 ②落輪した場合の引上げ ③バッテリー上がり時のジャンピング ④キー閉じ込み時の鍵開け ⑤パンク時のスペアタイヤ交換 ⑥燃料切れ時の給油サービス ⑦宿泊・移動費用*1 ⑧経由地立ち寄り*2 ⑨スタック・スリップ*3 		<ul style="list-style-type: none"> ①レッカーけん引 ②落輪した場合の引上げ ③バッテリー上がり時のジャンピング
<p>合計補償金額15万円限度/1事故</p> <p>右記補償を除く ⑥燃料切れ時の給油サービス最大10リットル/1回 ⑦宿泊費用2万円限度/1搭乗者あたり 移動費用2万円限度/1搭乗者あたり</p>		<p>合計補償金額100万円限度/1事故</p>

※1 ⑦宿泊費用:宿泊施設に臨時に宿泊した場合の1泊分の客室料を補償、移動費用:走行不能となった地点または修理工場からの移動費用を補償 ※2 ⑧経由地立ち寄り:レッカーけん引の経由地立ち寄りを補償 ※3 ⑨スタック・スリップ:雪道、泥道、砂浜などによるタイヤのスタック(空回り)やスリップなど走行が困難な場合の応急処置を補償

●ロードサービスの対象となるレンタカー・自走式建機

1 アクティオのレンタカー	2 アクティオの建設機械のうち、右記のもの。
---------------	------------------------

- バックホー ● 重機 ● 移動式クレーン・フォークリフト
- 道路機械: 振動ローラー・コンパインドローラー等 ● 高所作業車(エンジン式)

※対象機種についてご不明な点は最寄営業所の担当者にお問い合わせください

万が一の時は専用の窓口で電話するだけ!

アクティオレンタル物件サポート特約制度への加入で、
右記の**規定額**まで**費用が無料!**

レンタカー (合計最大) 15万円/1事故
自走式建機 (合計最大) 100万円/1事故

詳しいロードサービスの対象や補償範囲、手配の流れ等についてはこちらをご覧ください



AKTIOの取り組む建設現場の環境対策

脱炭素(GX)に貢献する次世代燃料専用機械

試験施工中 バイオディーゼル燃料専用バックホー

AKTIOは、日本キャタピラー合同会社と共同で「バイオディーゼル燃料専用バックホー」を製作した。本製品は、「CAT 320D」をリニューアルし、バイオディーゼル燃料対応性能を強化したバックホーとなっている。エンジンは、新たに製造するのではなく、古いエンジンを再生するリビルド製品を使用。製造時におけるCO₂排出量削減にも配慮している。



バイオディーゼル燃料仕様の燃料ラインを装着したエンジン

- 特長 1 バイオディーゼル燃料使用によりCO₂を削減
- 特長 2 リビルド製品(再生部品)を活用し、新規部品の製造や廃棄に伴う環境負荷を低減
- 特長 3 機体左右にカメラを設置し、走行時、作業時の周囲への安全性を向上

好評レンタル中 バイオディーゼル燃料専用発電機



AKTIOがエンジン式発電機を独自に改良し、カーボンニュートラル(排出量から吸収・除去量を差し引いてCO₂排出量を実質ゼロにすること)を可能とした発電機。25kVAから220kVAまでの6機種を取り揃えており、幅広い用途に合わせた使用が可能だ。

※使用するバイオディーゼル燃料は、全国バイオディーゼル利用推進協議会が定める協議会強制規格(7項目)を満たすB100・B30燃料とする。

商品コード:AAJ

◎いずれも燃料に関しては、お客様手配となります。

人にも街にもやさしい伐根技術。AKTIO独自開発の「根こそぎ切るソー」がグッドデザイン賞受賞

商品の詳細はこちら▶



GOOD DESIGN AWARD
2025年度受賞



街路樹の切り株除去工事(伐根作業)は多くの場合、チェーンソーを使った手作業で行われるが、騒音、安全性、作業時間の長さ、木屑の飛散など、数々の課題を抱えている。そこでAKTIOはホールソー式のバックホーアタッチメント「根こそぎ切るソー」を独自開発した。

「根こそぎ切るソー」は、円筒形の刃を回転させながら切り株を包むように地中へ切り進み、樹木の根を切削する。騒音も少なく、木屑の飛散も最小限。危険性も低減し、作業人員の削減を可能にする。また、掘削面積が少ないため、周囲の構造物を傷つけるリスクも大きく低減される。円筒形ホールソーの直径は約500mmタイプと約700mmタイプの2種類。土中に混在する異物を除去しながら作業できる特殊な刃となっている。

街路樹の再整備が進められるなか、作業の効率化と安全の確保、環境への配慮を実現する「根こそぎ切るソー」への期待が集まっている。

グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

これまで複数人がチェーンソーを用いて長時間もかけ、騒音や周辺への影響を伴いながら行ってきた木の根の切断作業を、従来の油圧ショベル用アタッチメントとしたことで、大幅な効率化を実現している。作業時間やコストを削減し、人材不足の解消に貢献するとともに、引き抜きの際に周囲の構造物を破壊することなく、木屑も発生させないという特長は、環境負荷の低減や作業環境の改善においても顕著な効果を発揮して、課題に即した革新的な解決策を提示している。新たな街路樹等の公共工事のスタンダードを築く可能性を秘めており、今後のさらなる普及と発展が強く期待される。

Point 1 飛散防止で安全かつ少人数作業

- ・木屑が飛散せず、周囲を汚さないため、歩行者への安全確保が容易
- ・少人数での作業が可能で人件費の削減につながる



根こそぎ切るソー

Point 2 周囲の構造物を傷つけない

- ・横根だけを切り、コア部分をくり抜く構造
- ・アスファルトやブロックなどの周辺構造物を損傷せず、追加工事が不要



切り株にセンター固定ピンを固定

Point 3 高速かつ低騒音で効率的

- ・バックホーのエンジン音のみで低騒音
- ・樹木の種類や太さにもよるが1本あたり約10分で切削が可能
- ・1日に6~7本(従来は2~3本)の処理が可能で工期短縮を実現



回転切削(全景)



切り株撤去抜根

AKTIOで活躍する女性社員をご紹介します

meets AKTIO

お客様とのコミュニケーションを大切に、頼られる存在へと成長したい。

北海道支社 札幌営業所 営業 葛西 桃子

【プロフィール】新卒でAKTIOに入社、札幌営業所で営業職として一から業務を学び、現在6年目。後輩指導も担当する若手営業のリーダー的存在。



「現在の業務について教えてください。」
札幌営業所で営業を担当しています。私たちの営業所は、お客様を気持ちよくお迎えするためにみんなで掃除をすることから1日が始まります。私は玄関や窓拭きを担当しています。その後はメールチェックなどデスクワークを行い、訪問先を事前に決め、その現場やお客様に合った商品資料や見積もりを準備してから出発します。訪問時は単に用件を済ませるだけでなく、お客様とお話しし、現場のニーズや困りごとを引き出せるよう心がけています。一度の訪問で、20~30分ほどお話しすることもありますが、その際は商品の話だけでなく、日常的な会話も大切にしていきます。そうしたコミュニケーションを通じて信頼関係を築くことがお客様のお役に立つ上で重要だと考えています。

「なぜ「営業職」を選んだのでしょうか?」
もともとデスクワークでPCに向かい続けるよりも外に出て人と関わりたいという思いが強く、就職活動時は業種を絞らずに営業職を探していました。合同説明会でAKTIOを知り、自分にとって未知の業界である建設機械レンタルに面白さを感じて入社を決めました。

当初は東京での就職も考えましたが、地元札幌で働きたいという思いが勝りました。女性の営業職はまだ少ない業界ですが、当時の上司(現在の支店長も女性で、キャリアの道筋が非常に明確に見えたことも、安心して飛び込んだ理由の一つです。

「今の業務はご自身に向いていると思いますか?」
本来の私はどちらかというと人見知りですが、最初は心配な気持ちもあったのですが、環境に順応するのは早かったように思います。入社当時はお客様に厳しいご指摘を受けた際にも、営業車に戻ってから泣いてしまっこともありました。はつきりとしたきっかけや時期は思い出せませんが、日々の業務を通じて徐々に精神的にも成長できたのだと思います。今はお叱りを受けることがあっても「次はこう改善してみよう」と前向きに捉え、次に活かせるようになりました。そう考えられるようになったのは、周囲の先輩方が相談に乗ってくださり、また先輩方の仕事の姿勢から学ばせていただいたおかげだと感じています。

「やりがいを感じるのどんな点でしょうか?」
やはりお客様から「ありがとう」と言葉にしていたたく嬉しです。もっとお役に立ちたい!という気持ちになります。なかなかお取引のきっかけが掴めなかったお客様に対し、諦めずに足を運び「何かあったらいつでもご連絡ください」とお伝えし続けていました。ある日そのお客様から「急ぎで高所作業車が必要だが、いつもの会社で手配できない」とご連絡があり、即座に対応したと

「今後の目標を教えてください。」
札幌市内にタワークレーンを建てることです。かつて上司が大規模現場でタワークレーンを設置している姿を間近で見ると憧れを抱きました。再開発などで札幌の街も変わりつつあります。いつか私も地元のランドマークになるような大きな現場を担当したいと考えています。そのためにも、お客様との信頼を積み重ね、社内外の皆様の助けになれる存在を目指したいと思っています。

上長から一言

葛西さんを言わずと、負けず嫌いな。入社した際の最初の自己紹介は「同期には絶対負けません!」から始まりました。いつでも、何にでも真剣に向き合い妥協という言葉がない人です。最近葛西さんと一緒にお客様を訪問すると、仕事が楽しいのだからなと感じます。お客様との関係を構築できていくのは、彼女の努力や、足繁く通ってきた成果。気が付けば葛西さんも中堅と呼ばれる立場になって後輩もたくさんできました。今後も細やかな気配りを活かした営業スタイルで、営業の第線としてさらなる活躍を期待しています。(札幌支店 支店長 遠藤宏美)

「一本当に助かった、ありがとう」と感謝されました。困っている時こそ力になれる当社の対応力が実を結んだと思えました。それ以来信頼していただき、今では私が担当する中で最も深くお付き合いさせていただく大切なお客様となりました。

「今後の目標を教えてください。」
札幌市内にタワークレーンを建てることです。かつて上司が大規模現場でタワークレーンを設置している姿を間近で見ると憧れを抱きました。再開発などで札幌の街も変わりつつあります。いつか私も地元のランドマークになるような大きな現場を担当したいと考えています。そのためにも、お客様との信頼を積み重ね、社内外の皆様の助けになれる存在を目指したいと思っています。

AKTIO TOPICS. 4

フロアクライミングに特化した超高層建築用タワークレーン

「パイロクレーン OTA-980HN」レンタル開始

超高層建築用タワークレーン「パイロクレーンOTA-980HN」の最大の特徴は、昇降体側面からタワーを取り込む「タワー引込式独立型クライミング装置」の採用。自力でタワーを引き込み上昇する構造によって、従来のフロアクライミング方式で2日要した作業を1日で完了できる。また、上面取り込み口が不要なため、1,000t・m級の性能ながら600t・m級のコンパクトな旋回体サイズを実現し、周囲への干渉リスクも低減している。

- 特長**
- ①タワー引込式独立型クライミングで施工効率が大幅向上 (1本約2時間)
 - ②上面取り込み口が不要で、コンパクトな旋回体を実現
 - ③旋回体後部が短く、敷地外への越境リスクを低減
 - ④アウトマスト上部は脱着式で最上階のクライミングが容易
 - ⑤クライミング装置が独立して動き、上昇後すぐに作業再開可能
 - ⑥クライミング中もジブ360度旋回が可能
 - ⑦37m/42m/47mの3段階ジブ長調節



■クライミング作業工程



天秤を付けたタワーを吊り上げ待機させる タワー自重をタワー引込トロリに預ける 横行装置を操作しタワーを引き込む

商品コード:DL1 98000 001

商品の詳細はこちら▶



AKTIO TOPICS. 2

後方だけでなく前方にも! ~前後検知で接触事故を未然に防止~

「衝突被害軽減アシスト装置搭載10tタイヤローラ」レンタル開始

「衝突被害軽減アシスト装置搭載タイヤローラ」は、対象物を検知するセンサーを前後に搭載。運転中に人や物を検知すると、走行速度と対象物までの距離に応じた3段階の制御を最適なタイミングで実行し停止させる。さらに、不意な巻き込みを物理的に防止する「巻き込まれ防止ガード」を前後に装備。輸送時や積み下ろし作業時にはガードを上部に格納でき、作業効率を損なうことなく安全性と利便性を両立している。

- 特長**
- ①衝突被害軽減アシスト機能 ~前後方向に搭載~
 - ・前後のカメラで車両の走行速度と対象物までの距離に応じて、3段階制御(警告・減速・停止)
 - 【LEVEL 1】物体検知
 - 【LEVEL 2】エンジン回転数制御
 - 【LEVEL 3】HSTブレーキ作動
 - ・見えない死角への接近を検知し、事故発生リスクを大幅に低減
 - ②巻き込まれ防止ガード(地上高150mm) ~前後方向に装備~
 - ・車検登録しており、公道走行可能
 - ・従来の改造申請不要の純正仕様で、導入手続きゼロ



運搬時

商品の詳細はこちら▶



NETIS登録番号:KT-240118-A

※本装置は安全補助装置です。100%事故を防ぐものではありません。使用にあたっては従来通りの安全注意事項を必ずお守りください。

AKTIO TOPICS. 3

一般的な下水道のマンホールにも入るコンパクト設計の新型水中ポンプ

「パッシングポンプ」レンタル開始

下水道の更新工事や改修工事では下水を迂回させる「切り回し」作業が不可欠だが、従来の汚水ポンプはマンホールに入らず、汎用品では異物の詰まりが課題となっていた。グループ会社の櫻川ポンプ製作所が開発した「パッシングポンプ」は、一般的な下水道のマンホール(開口部内径600mmの1号マンホール)に収まる小型設計。モータを冷却する独自構造により、低水位でも連続運転を可能にしている。



- 特長**
- ①最大径600mm未満で、1号マンホールにも設置可能
 - ②水位が低くても排水の流れでモータを冷却する独自の「片水路構造」により連続運転が可能
 - ③異物通過径がサンドポンプ並みに大きく、汚物が詰まりにくい

商品コード:CH1 05562 001/CH1 11082 001

商品の詳細はこちら▶



こんな現場に!

- マンホール切り回し工事
- 下水道の改修工事
- 汚水処理場の改修工事
- 枯れ葉やゴミが混じる排水
- 工場排水

AKTIO ACTIVITIES

さまざまなプロジェクトや社会貢献活動をご紹介します。

学生食堂企画
「100円カレーDAY」に協賛

AKTIOは、物価高騰に直面する学生支援を目的とした東北工業大学の「100円カレーDAY」に賛同し、協賛した。当日は八木山・長町の両キャンパスにおいて、合計約700名の学生・教職員が本企画を利用。会場には同大出身のAKTIO社員も加わり、学生との交流を通じて当社への理解を深める取り組みも展開した。今後も大学や地域社会との連携を通じ、次世代を担う若者の生活や学びに寄り添う活動を継続していく。



アクティオ100円カレーDAY 配布チラシ 学生食堂での食事風景

AKTIO TOPICS. 5

夏の暑さ対策はお早目に!

夏季商品のご案内

AKTIOでは、熱中対策テントや移動式クーラー、熱中対策計測器など、夏の暑さから現場を守る商品を豊富にラインナップ。詳しくは公式ホームページにてご確認ください。

熱中症リスク判定AIカメラ「カオカラ」

ポータブルスポットクーラー充電式「エコヤン」

業務用かき氷機「Blizzastar® JJ」

夏季商品特集はこちら▶



今日も
ごあんぜんに
みんなで守る、みんなの安全

+ 今回のテーマ
再確認! 安全対策、基本の「き」

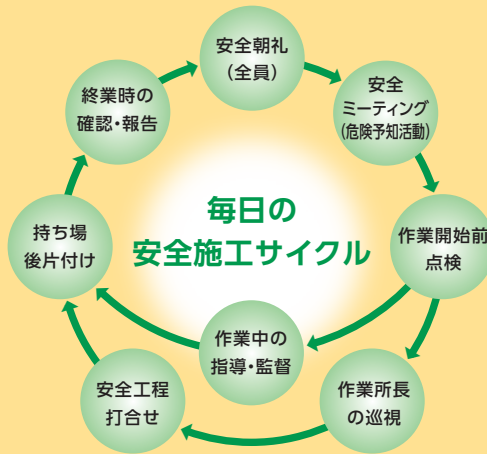
日頃の安全対策に役立つ情報をご紹介します!
一人ひとりがしっかりと意識を持って、安全な職場を実現していきましょう。

●…… 新人もベテランも、春こそ改めて安全対策を……●

4月は新しい仲間が増え、現場の雰囲気も一新される時期。まだ作業に慣れていない新人期間はもちろん、業務に慣れてきた頃の“ちょっとした油断”から発生してしまう労働災害にも注意が必要です。ベテランにとっては当たり前のことでも、新人には見えない危険がたくさんあります。この春は、現場に関わるすべての人にとって重要である安全対策についておさらいしましょう。

安全施工サイクル活動の実施

安全施工サイクルとは、毎日・毎週・毎月・随時行う活動の中に、さまざまな安全活動を組み入れて継続的に実施することです。現場の作業工程に安全衛生管理を組み入れて「施工と安全衛生の一体化」の推進を図ることにより、安全衛生を確保しつつ一定の品質で、早く、安く工事を完成することを目的としています。



▶ 労働災害を防止するために

- 1 決められた現場のルールと作業手順を守る
- 2 職長等の責任者の指示を守る
- 3 決められた保護帽(ヘルメット)・墜落制止用器具(安全帯)、防じんマスクなどの保護具をきちんと使用する
- 4 手すりなどの安全設備を勝手にはずさない
- 5 材料や工具の整理・整頓・清掃・清潔に努める



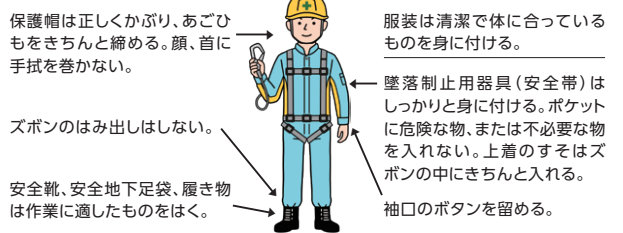
▶ 不安全行動をしない

「不安全行動」とは、本人が“危険”とわかっている、わかっているにもかかわらず危険な行動をすることです。安全通路を通らないで近道をしてしまう、決められた作業手順どおりにしないで省略してしまうなどです。



▶ 正しい服装、適切な保護具

- 1 安全の第一歩は、服装を正しく着用することです。
- 2 作業に応じ、必要な保護具の着用が定められており、保護具は正しく装着することで自分の身を守ります。



- ・保護帽
- ・保護マスク
- ・耳栓
- ・安全靴
- ・保護メガネ
- ・保護手袋
- ・墜落制止用器具

編集後記

皆さんは、肉と魚どちらを多く食べていますか?私は小学生のころ、給食で出た魚の小骨が喉に引っかかってしまい、3日目の給食のカレーでやっと取れてホッとしたことがあり、それ以来小骨が苦手で、お刺身やお寿司以外はあまり食べていませんでした。しかし、友達から“日本人なのになんで魚食べないの?魚、美味しいよ!”と言われたことがキッカケで、魚を食べ始めました。焼く・煮るが中心で、塩焼き、照り焼き、ムニエル、醤油や味噌の煮付けなどを作っています。鮭、さば、赤魚、いわし、ぶり、銀だら、カジキマグロ、さわら、鯛など、さ

まざまな魚を食べるようになり、改めて、お魚が美味しいなと日々感じています。魚には、脳の健康・学習能力の向上に役立つDHA(ドコサヘキサエン酸)や血液サラサラ・血管ケアに効果が期待できるEPA(エイコサペンタエン酸)が多く、良質なたんぱく質とカルシウムやビタミンDなども摂取できるので、骨の健康や体力維持、疲労回復にも効果があるようです。よりよい効果を実感できるよう、今後もさまざまな魚を美味しくいただこうと思います。

広報部 成澤



今号の表紙写真

AKTIOが続けてきた「省人化」と「環境」への取り組み。今号の特集では、これまで形にしてきたものを踏まえ、新たな商品やサービスの展開、そして今後の展望についてお伝えしています。お客様の現場がより効率的で、地球にやさしいものであるために、明るい未来を感じる、光のある写真を表紙にしました。ぜひ特集をご覧ください。